

# 第 1 章

## 調査研究の概要



## 第1章 調査研究の概要

### 第1節 背景と目的

職業能力開発促進法（以下「能開法」という。）に基づき、職業能力開発及び技能検定その他職業能力開発に係る基本的な方針について、厚生労働大臣が策定する計画である「第11次職業能力開発基本計画（令和3年度から令和7年度）」において、ITや新たな技術を活用した職業訓練等を推進していく中で、「訓練内容の高度化や訓練実施の効率化を図るため、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（以下「機構」という。）が行うものづくり分野の職業訓練における新たなIT技術（AR・VR技術を活用した訓練、受講管理システム等）の導入に向けて、訓練手法の開発・検証等を進める。」とうたわれている。

また、職業訓練や職業訓練指導員（以下「指導員」という。）の養成訓練については、第4次産業革命に対応したカリキュラム開発が進む中であって、デジタル技術の進展に対応した新たな指導技法等の開発が求められている。

については、上記の情勢を踏まえ、職業訓練現場におけるICTの活用状況に係る調査により現状を把握するとともに、指導技法に活用できるICTの選定と具体的な指導方法を検討し、試行検証結果を踏まえ、ICTを活用した指導技法等を開発することを目的とするものである。

### 第2節 調査研究の実施手順及び内容

本調査研究の実施手順として、職業訓練のICT化において、特に期待ができる以下の3点について検討を進めることとした。

- (1) 対面指導における訓練指導技法の検討
- (2) オンライン訓練の効果的な実施方法に係る検討
- (3) 学習管理システム（LMS）等の効果的な活用方法に係る検討

上記の検討を行うに当たり、まずは、ICTを活用した教育等における文献・Web調査及び民間企業や他の教育訓練機関等に対し、人材育成におけるICTの活用事例や実技・実習におけるオンライン教育の事例、教育機関等におけるLMSの導入事例等をヒアリングまたはアンケート調査を行うこととした。

これらの検討を踏まえ、まずICT化のフレーム（枠組み）を整理した後に、ICTを活用した指導技法の開発を行い、機構職業能力開発施設での試行実施も踏まえ、職業訓練のICT化に係る指導技法の取りまとめを行うという手順で実施することとした。

### 第3節 研究会の開催

本調査研究を進めるうえで、現場の識者の意見を伺うために、民間有識者、地方自治体、厚生労働省、機構本部、機構職業能力開発施設、職業能力開発総合大学校（以下「職業大」という。）の中から ICT を活用した人材育成や教育技法について見識を有する者で構成した「職業訓練の ICT 化に係る指導技法等の開発研究会」を設置した。

令和3年度は、民間有識者、地方自治体、厚生労働省、機構本部、機構職業能力開発施設、職業大の関係分野に見識のある14名で委員を構成し、下記のとおり2回開催した。

#### ① 第1回研究会

開催日時：令和3年10月13日（水） 10：30～16：30

開催場所：職業大 2号館7階 図書閲覧室

主な次第

1. 研究会の趣旨・目的等
2. 事前調査報告
  - (1) 文献調査
  - (2) ヒアリング・アンケート調査
3. 事例紹介
4. 議題
  - (1) ICT 機器の活用により訓練効果の向上が見込まれる場面について
  - (2) 実技、実習の中でオンライン訓練により実施可能な部分の抽出にして
  - (3) LMS 活用により実現する職業訓練の効果的な運用方法について

#### ② 第2回研究会

開催日時：令和4年2月10日（木） 13：00～16：30

開催方法：オンライン形式

主な次第

1. 第1回研究会の振り返り
2. 議題
  - (1) ICT を活用した指導技法について
  - (2) オンライン訓練の効果的な実施方法について
  - (3) 職業訓練等における LMS 等の活用について
  - (4) 令和4年度の試行実施について
3. まとめ・事務連絡
  - (1) 中間報告書のとりまとめについて
  - (2) 令和4年度の研究会のスケジュールについて